

1. 夏の語り指導ワークショップ

平成17年度の研究成果である研究部推奨発表語いを利用した学習活動および言語活動に関しても研究を進め、その成果を恒例となった「夏の語り指導ワークショップ」において、3日間のべ100人を越える現場の先生方に還元させていただいた。この5年間で約450人も先生方と一緒に研修したことになる。

2. 本年度の研究の概要

- (1)平成18年度の研究の続きとして残りの重要動詞全部のコロケーションを調べた。
そして平成19年10月にリストが完成した。
- (2)それぞれの動詞のコロケーションのうち、ベスト5をリストアップした。
- (3)上記(2)と一般のコーパスによるコロケーションの比較分析をした。(比較文献例「コーパス練習帳」投野由紀夫 2004年NHK出版)

3. 「検定教科書にあらわれる重要動詞のコロケーション調査」

表の見方 (紙面の関係で表は研究部HPでご覧ください。 <http://www.eigo.org/kenkyu>)

①B列「教科書名」

教科書名は略号で表している。Sunshine(SS), New Crown(NC), Columbus(CO), Total(TO), New Horizon(NH), One World(OW)

②C列「動詞」

昨年度のaskからdoに加え、残り全部を調査した。

③D列「順位」

コロケーション頻度のランキングである。上位5つまでを記載した。

④E列「コロケーション生データ」

動詞の次に来る語句を可能な限りそのまま収録するようにした。

「0」はその動詞が文末に使われていることを表す。

「引用符」はその動詞の次に" "(double quotation marks)が来ることを表す。

「人」は人名や人称代名詞を指す。

phrasal verbs やそれに準じる語句の場合は個々の単語を書いた。

⑤F列「コロケーション分類」

カテゴリーを記載した。

⑥G列「頻度」

当該の語が6社の教科書に表れる回数である。

⑦H列「CR順位」

「コーパス練習帳」(前述)にあるランキングである。空欄は本にその動詞の扱っていないことを示す。「コーパス練習帳」が元にしてしているコーパスはBritish National Corpus (BNC イギリス英語で実際に使われた話し言葉1000万語)であり本研究部のコーパスは現在使われている6社の検定教科書に現れる語いという限定されたものなので当然ランキングには違いがある。そこで参考までに一般的なBNCのランキングも示した。

⑧I列「CRコロケーション」

「コーパス練習帳」に現れるコロケーションの実際である。